

出題範囲:2年間の総まとめ(未来・接続詞・動名詞・不定詞・比較)(中2・学年末)	時間:45分	難易度:基礎
--	--------	--------

このテストのストーリー 春休みに、学校の海外研修(ニュージーランド・10日間)へ参加することになったあなた。説明会で話を聞き、ホスト家庭の中学生 Ryan(ライアン)とやり取りし、コースを選び、自己紹介のメッセージを書く――すべての問題が「研修の準備のための英語」です。

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。ヒントを使ってよいので、まず全問に手をつけよう。

大問1 リスニング 研修の説明と、出発前の質問の対話を聞いて答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 海外研修の事前説明会です。担当のバーカーさんが研修の説明をします(Part A)。そのあと、あなたはバーカーさんに質問します(Part B)。メモを取りながら聞いています。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A 事前説明会でのバーカーさんの説明を聞いて、メモの空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

研修の期間	(①)	泊まる場所	(②)
平日にすること	(③)	初日の夜にあること	(④)
⑤ 説明を聞いて、あなたが現地でしたいことを英語で書こう。(3点) 書き出し:I want to _____.			

Part B 説明会のあと、バーカーさんに質問しています。対話を聞いて答えよう。((1)~(3)各2点)

(1) 日本を出発する日はいつですか。	(月 日)
(2) 3月のニュージーランドは、どんな気候だと言っていますか。	()
(3) ホストファミリーに持って行くとよいものはどれ? ア 冬のコート イ 日本の写真 ウ 教科書	()
(4) この対話のあと、あなたが今夜しそうなことはどれ?(3点) ア ホストファミリーへのメッセージを書く イ 荷物を空港へ送る ウ 海で泳ぐ	()

大問2 文法・語い チャットとメモが成り立つように、()の英語を完成させよう。 知識・技能 /20点

場面 ホスト家庭の中学生ライアンと、出発前のやり取りをしています。

Ryan: Hi! I'm Ryan, your host brother. I(①)show you around when you come!
You: Thank you! I'm interested in (②) new things.
Ryan: Great. If it(③)sunny, we can swim in the sea.
You: Nice! I want(④)try that!
Ryan: March here is (⑤) than January. Summer is ending.
You: I see. I think(⑥)New Zealand is very beautiful.
Ryan: It is! What are you going(⑦)do here?
You: I'm going to cook Japanese food,(⑧)I like cooking.

語群(同じ語を2回使うことも):will / to / that / because / is / trying / cooler / playing / most ①～⑩
の10か所・各2点

〈ライアンのメモ・各2点〉 Ryan enjoys (⑨) rugby. / He thinks manga is the(⑩)interesting of all Japanese things.

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

大問3 場面のやり取り 研修の準備と現地の生活。それぞれの場面に合う英語はどれ？ 思・判・表 /10点

場面 説明会から現地の生活まで、いろいろな場面の英語を考えます。

場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) 事前説明会で、ベーカーさんに質問したいとき、最初の一言は？ ア May I ask a question? イ You may ask me. ウ What's up?	()
(2) 「なぜ研修に参加したいの?」と聞かれて、理由を答えるなら？ ア I will join the program. イ Because I want to make friends abroad. ウ I joined it last year.	()
(3) 自己紹介で「英語で話すことを楽しんでいます」と伝えるなら？ ア I speak English every day. イ English is easy for me. ウ I enjoy speaking English.	()
(4) ホストマザーに「週末は何をするの?」と聞かれた。予定を答えるなら？ ア I'm going to visit a museum. イ I visited a museum. ウ I like museums.	()
(5) 「日本の夏とニュージーランドの夏、どちらが暑い?」と聞かれ、「日本のほうがずっと暑いよ」と答えるなら？ ア Japan is as hot as New Zealand. イ Japan is much hotter than New Zealand. ウ New Zealand is not hot.	()

大問4 資料の読み取り 週末コースのちらしを読んで、友だちのコースえらびを手伝おう。 知技・思判表 /20点

場面 研修の週末は2つのコースから選べます。いっしょに参加する友だちのカナが、どちらにするかなやんでいます。

Nature Course	City Course
Visit a sheep farm Feed sheep and ride a horse Meet at 6:00 a.m. Lunch: BBQ in the mountains	Visit a local junior high school Talk with students of your age Meet at 9:00 a.m. Museum tour in the afternoon

カナのメッセージ "I want to make friends of my age and talk a lot in English. And I'm not good at getting up early..."

(1) ちらしから読み取ろう。(各2点) ① ネイチャーコースの集合時こくは？	(:)	② ネイチャーコースの昼食は？	()
③ シティーコースで訪れる学校は？	()	④ シティーコースの午後の予定は？	()

(2) カナのメッセージに合うコースはどちら？(記号2点) A Nature Course B City Course	()
そう考えた理由に合うものは？(3点) ア カナは「同じ年の友だちと英語でたくさん話したい・早起きが苦手」と言い、シティーコースは地元の中学生と話せて集合も9時 イ バーベキューがおいしそうだから ウ 博物館は静かだから	()
(3) もう一方(ネイチャーコース)のよさをカナに伝える一言は？(3点) ア 羊にえさをやったり乗馬をしたり、ここでしかできない体験がある イ ネイチャーコースはもう申しこめない	()
(4) カナにシティーコースをすすめる英語として合うものは？(4点) ア You can talk with students of your age in the City Course. Let's choose it together! イ I like sheep very much. ウ New Zealand is a beautiful country.	()

大問5 読解 この2年で学習した教科書の文章を、もう一度読んで答えよう。 知技・思判表

／20点

場面 ライアンに「日本の英語の教科書を見せて」とたのまれました。内容を思い出しながらかみ直します。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、この2年(総復習の範囲)で学習した教科書の本文・説明文をここに貼り付け)

問1 この文章に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①～④(各2点)	①()②() ③()④()
問3 下線部の語の意味として合うものを選ぼう(3点)	()
問4 筆者の考えとして合うものを選ぼう(3点)	()
問5 本文のテーマについて、あなたのことを英語で書こう(3点) 書き出し:I enjoy ____.	

大問6 ライティング ホストファミリーに、自己紹介のメッセージを書こう。 知技・思判表

／10点

場面 出発前に、ホストファミリーへ自己紹介のメッセージを送ります。あなたのことを知ってもらい、「早く会いたい」と思ってもらえるように書きます。

条件 ①ふだん楽しんでいること(部活・趣味)を1つ ②ニュージーランドでしたいことを1つ
書き出しヒント:I enjoy ____ . / I want to ____ in New Zealand.

3文以上。ホストファミリーが「早く会いたい」と思えるように書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、ホストファミリーに伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点
------------	---

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字 ☐ 文末のピリオド／？ ☐ 形(will/be going to・to+動詞の原形・～ing・比較級/最上級) ☐ 読む相手(ホストファミリー)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 52点／思考・判断・表現 48点(2学期の53:47からさらに一步。学年末は2年分の文法を研修準備の1つの場面で統合し、中3の入試型比重へつなぐ)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	海外研修の事前説明(期間・滞在・活動)と、出発前の質問の対話を聞く	予定・条件の聞き取り(知技)／状況からの判断・自分のしたいことを書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	ホスト家庭の生徒とのチャット・メモが成り立つように語・語形を判断する	文脈の中で2年間の文法(未来・接続詞・動名詞・不定詞・比較)を正しく使う	知技	20(2点×10)
大問3	研修準備の場面(質問・理由・自己紹介・予定・比較)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて表現を選択する	思判表	10(2点×5)
大問4	週末コース2つのちらしを読み、友だちの希望に合うコースを選んで伝える	資料の読み取り(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×2・4点×1)
大問5	教科書の説明文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→筆者の考え→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／筆者の考えの理解・自分の考えの表現(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×4)
大問6	はじめて会うホストファミリーに、自己紹介のメッセージを書く	動名詞・不定詞・未来などを使い、条件に沿って読み手を意識して書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(事前説明会・ベーカーさんの説明)
Hello, everyone! I'm Kate Baker from the international program office. (3sec)
This spring, you'll stay in New Zealand for ten days. (3sec)
You'll live with a host family. Don't worry, they're all very friendly. (3sec)
On weekdays, you'll go to a local school with your host student. (3sec)
On the first night, we'll have a welcome party. Let's enjoy it! (3sec)

Part B(説明会後の質問の対話)
You: Ms. Baker, when will we leave Japan? (2sec)
Ms. Baker: On March 26. (2sec)
You: What will the weather be like there? (2sec)
Ms. Baker: It's the end of summer. It's getting cooler, so bring a light jacket. (3sec)
You: I see. What should I bring for my host family? (2sec)
Ms. Baker: Good question! Photos of Japan are the best present. They'll love talking about them. (3sec)
You: Nice! I'll choose some photos and write a message to my host family tonight! (3sec)
Ms. Baker: Great idea! (1sec)

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①10日間 ②ホストファミリーの家 ③ホストの生徒と地元の学校へ行く ④ウェルカムパーティー ⑤例:I want to talk with students in English.(発展版は2文目に理由があれば満点) B:(1) 3月26日 (2) 夏の終わり(すずしくなってくる) (3) イ (4) ア
大問2	① will ② trying ③ is ④ to ⑤ cooler ⑥ that ⑦ to ⑧ because ⑨ playing ⑩ most ※③は条件のifの中は現在形(重要ポイント)。②⑨は動名詞、④⑦は不定詞のto、⑤は比較級、⑩は the most interesting の most、⑥は I think that、⑧は理由の because。許容解は採点前に決めておく。
大問3	基礎・標準版:(1) ア (2) イ (3) ウ (4) ア (5) イ / 発展版(説明会の質問の場面を除く4問):(1) イ (2) ウ (3) ア (4) イ
大問4	(1) ①6:00 ②バーベキュー(BBQ) ③地元の中学校 ④博物館ツアー (2) B / 理由:カナは「同じ年の友だちと英語でたくさん話したい・早起きが苦手」と言い、シティーコースは地元の中学生と話せて集合も9時(メッセージとちらし両方への言及で満点、片方のみ部分点2点) (3) ア (4) ア(英文として伝わる=2点+情報が適切=2点)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は「話題は同じだが要旨とずれるタイトル」を2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変える。問3は未習語・派生語を下線に。問4は考えの手がかり語を決めてから採点する。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	はじめて会うホストファミリーに自分を知ってもらおうという目的に応じて、ふだん楽しんでいること(動名詞など)と現地でしたいこと(不定詞・未来など)を、意味の伝わる英文で書いている。	
	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(ホストファミリー)が会いたくなる工夫がある …6点	指定の語数を満たし、2年間の文法(未来・不定詞・動名詞・比較など)の誤りがほとんどない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとはしている) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」はテストでは点数化せず、思判表と一体的に見る(国研参考資料の立場)。
・条件に「動名詞を使って」等の言語材料の指定はしない。「ふだん楽しんでいること」「現地でしたいこと」という内容条件が動名詞・不定詞の使用を自然に促す(提示がない状況で使えるか＝技能の評価)。
・cの生徒への手立て:返却時に条件チェック表で自己点検→書き直し提出で再評価。減点でなく「できていることを数える」加点で運用。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	研修を自校の実際の行事(修学旅行の英語プログラム・姉妹都市交流・英語キャンプ)に差し替える。海外行事がない学校は「来日する海外校の受け入れ準備」に読み替えても問いの型は同じ。
範囲の調整	受け身を2年生の終わりに学習する教科書(SUNSHINE・ONE WORLD など)は、大問2の1～2問を受け身の文(is loved by など)に差し替える。there is/are・have to も同様に差し込み可。
大問5の本文	この2年で学習した説明文・意見文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1＋要旨とずれる誤答2)、問2の○×文、問3の下線語、問4の考え設問を作る。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実施する場合は台本2本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回・自然な速さ)。時間の目安はリスニング10分・大問2～5で25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと1問の重みが大きくなりすぎず、観点別の集計も簡単。学年末は2年分を薄く広くサンプリングし、中3の思判表重視へつなぐ。

